

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 輸血・カテーテル用アクセサリセット 70326002

プラネクタ

(バイアルアクセス)

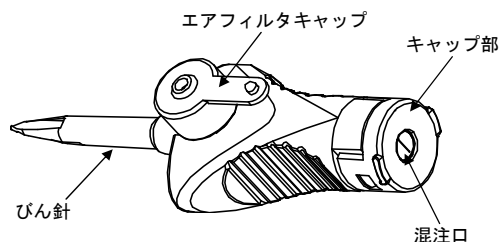
再使用禁止

【禁忌・禁止】 再使用禁止

*【形状・構造及び原理等】

針を穿刺せずに混注できる混注口を有し、薬液ボトル等に接続するびん針部がある。

〈構成(代表例)〉



・本品は以下の原材料を使用している。

構成部品	原材料
本体	ポリプロピレン、ポリカーボネート
混注口	イソブレンゴム

*〈仕様〉

項目	性能
耐圧性	39.2kPa

【使用目的又は効果】

輸液セット等のラインの途中又は薬液ボトルに接続し、薬液の混注口、採血口又は採液口として使用する。

**【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. 針力バーを外し、薬液ボトルに刺通します。
3. 混注等はオスルアーを有するシリンジを使用し、以下の手順で行います。

〔混注又は採液する場合〕

- (1) 消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ部を消毒します。
- (2) 混注口にシリンジのルアー部を垂直に挿入し、先端が止まるまでしっかり押し込みます。
- (3) ゆっくりと薬液の混注又は採液をします。

- * (4) 混注又は採液後、シリンジを混注口から引き抜き、消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ部に付着した薬液をふきとります。

〔加圧混注を行う場合〕

- (1) 本品の通気口をエアフィルタキャップで閉じます。
- (2) 消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ部を消毒します。
- (3) 混注口にシリンジのルアー部を垂直に挿入し、先端が止まるまでしっかり押し込みます。

- * (4) 混注後、シリンジを混注口から引き抜き、消毒用アルコール綿等で混注口及びキャップ部に付着した薬液をふきとります。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

- *1. 本品を鉗子等でたいたり、衝撃を与えたりしないこと。〔キャップ部等が破損するおそれがある。〕
2. びん針の段差部分まで薬液容器に刺通すること。
3. 混注口は混注前に消毒用アルコール綿等で消毒すること。〔細菌混入のおそれがある。〕

4. 混注口の消毒剤にポビドンヨードを使用しないこと。〔ポビドンヨードの析出物がスリットに侵入し、液漏れが生じるおそれがある。〕
5. 注射針を用いて混注等しないこと。〔混注口を破損させ、液漏れが生じるおそれがある。〕
6. シリンジを混注口から外す際は、他の接続部が緩まないように注意すること。

- **7. エアフィルタ一体型びん針のエアフィルタキャップを閉じる場合は、通気口とキャップの凸部の位置を合わせてから押し込むこと。〔位置がずれた状態で押し込んだ場合、通気口付近に破損が生じ、気密性が保てなくなるおそれがある。〕

*【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中は本品の破損、接続部の緩み及び薬液漏れ等について、定期的に確認すること。
2. 本品は血液バッグには使用しないこと。
- *3. 本品からの過度な加圧又は陰圧使用は行わないこと。〔破損、液漏れ及び空気混入が生じるおそれがある。〕

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

空気混入、漏れ、緩み、破損

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3 年〔自己認証(当社データ)による〕
包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

電話番号：082-243-5806